

平成20年度県民意見の提出状況について

宮 城 県

平成20年度に行っている政策評価及び施策評価に係る県民意見の提出状況等は、以下のとおりです。

記

1 意見募集期間

平成20年6月11日（水）～平成20年7月10日（木） [30日間]

2 意見提出方法

郵便、ファクシミリ、電子メール

3 関連情報の提供手法及び周知方法

(1) 関連情報の提供手法

- ① インターネット（県ホームページ）
- ② 県政情報センター（県庁）での公表
- ③ 県政情報コーナー（仙台以外の各地方振興事務所及び各地方振興事務所地域事務所）での公表
- ④ 宮城県議会図書室での公表

(2) 周知方法

- ① みやぎ県政だより
6月号「県からのお知らせ」欄に掲載
- ② ラジオ
Date fm「アラウンド・ザ・ミヤギ」 放送4回
6月11日（水）、13日（金）、27日（金）、7月7日（月）の放送枠内
- ③ メールマガジン
宮城県メールマガジン「メルマガ・みやぎ」第205号（6月13日発行）
トピックスに掲載

4 意見提出件数

12件（1人から提出）

5 意見の整理の考え方

意見の対象・分野ごとに分類しました。

6 提出された意見の概要

	分野	政策・施策名	意見の概要
1		県民意見の募集方法について	<p>・「意見を募集していること」をもっとアピールしてほしい。この行政評価は、県のビジョン、つまり県の骨格になっているはずで、県のほとんどの部署に関係するもの。県ホームページのトップページの「各種募集」の中に入っているべきものと思われる。トップページに、目立つような一項目があってもおかしくはないのではないか。県民のほとんど、企業の多くが、どこかの政策・施策に関わる、あるいは関心があるはず。その部分だけでも意見をもらえるようにアピールしてはどうだろうか。意識調査等で、（県が何をしているか）わからないという意見が多いのも、アピールの仕方が足りないからではないか。</p>
2		県民意見の募集方法について	<p>・意見募集の締め切りは、できれば政策評価部会が終わってからにして欲しい。傍聴すれば担当部署の説明を聞くことができるので。今は傍聴する人が少ないにしても。部会を傍聴できることもアピールし、傍聴する人も増やすべき。</p>
3		県民意見の募集方法について	<p>・「出前講座」で、「行政評価」のメニューを「132 ビジョン」の説明の中で行うほかに、つくって欲しい。また、取りまとめが終わった後に、結果報告を開催して欲しい。来年は意見を出そうという人が増えるように。</p>
4		県ホームページのトップページのメニュー構成について	<p>・できれば、「県政情報」の項目のひとつに、「県のビジョン」があってもおかしくはないと思う。行政評価を行う際に、県のビジョンはどうなっているのかをすぐに見ることができる。また、県はこんなビジョンがあることを多くの人に知ってもらうことにつながる。（計画・プラン・構想の中とは別に、入り口をつくるべき）</p>
5		県民意識調査について	<p>・「県民意識調査の結果」は、意見募集開始時に発表してほしい。「県民意識調査の結果」がホームページにアップされたのが7月1日。政策評価・施策評価の中に県民意識調査の数値が出されているので、どのような調査だったかを詳しく見るために意見募集の開始時には結果もアップして欲しい。あるいは、結果がアップされる日をそのときに示しておいて欲しい。（ホームページを頻繁にチェックするわけではないので）</p>

	分野	政策・施策名	意見の概要
6		政策評価・施策評価基本票について	<p>・県でいろいろな計画があるが、それとのつながりがわかるような表記が欲しい。「関連する計画」という項目が欲しい。具体的な政策・施策について、それぞれの計画等の審議会等で、検討されているものもあるので。そちらで検討・評価されているものは、それらの審議会の議事録等が参考にできるので。施策に関する社会経済情勢等の状況(計画等策定の状況)の中に、文言ではいっているものもあるが。</p>
7		政策評価・施策評価基本票について	<p>・継続・見直しの判断がわかりにくい。「順調・概ね順調」だから「継続」なのか、それとも「見直しが必要(見直しが可能, 縮小)」なのか。「やや遅れている・遅れている」から、今まで同様「継続」しなければならないのか、「見直しが必要」なのか。「見直す」というのも、「縮小」「拡充」の両面があるので、その違いがわかるような表記があるといい。(基本票の要旨P. 6～9) 該当する評価シートを見ればいいのだろうが、ここでもわかると見やすい。</p>
8		政策評価・施策評価基本票について	<p>・基本票の要旨のP. 4「遅れている」が該当なしであり、「やや遅れている」が4件であるので、ここで記載してほしい。(なにが遅れているかがわかるように)</p>
9		政策評価・施策評価基本票について	<p>・事業分析シートの、区分、重点・非予算の意味がわからない。「非予算的手法」の中にも、事業費のあるものとないものがある。基本表の用語集などがあると便利。</p>
10		政策評価・施策評価基本票について	<p>・効率的かどうかは、費用だけでみていいものか。県職員の人件費が含まれていないが、外部に委託する場合は、人件費を含むものとなる。たとえば、「施策28」の「事業名 マイバッグキャンペーン」は、非予算的手法だからか、効率性の記述がないが、職員のかかる時間が軽減されるかどうかで記述可能なものではないか。事業費があるものであっても、マンパワーの効率化についての検討は重要と考えられる。その上で、必要なものは増やすことも必要ではないか。たとえば「施策13 次代を担う子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」の「子ども虐待対策事業」は、「ひとりあたり200件以上」なので「効率的」とあるが、今の社会情勢からみると虐待への相談が増え、かつ内容も変化することが予測され、相談する人のスキルアップをはかる時間の確保のためにも、人を増やすことも必要になるだろう。</p>

	分野	政策・施策名	意見の概要
11	人と自然が調和した美しく安全な県土づくり	<p>(政策番号11) 経済・社会の持続的発展と環境保全の両立 (施策番号28) 廃棄物等の3R(発生抑制・再利用・再生利用)と適正処理の推進</p>	<p>事業名「マイバッグキャンペーン」 ・実施団体数は、1店舗が1団体なのか？(たとえば”宮城生協”で1団体か、宮城生協〇〇店で、1団体か)</p>
12	人と自然が調和した美しく安全な県土づくり	<p>(政策番号11) 経済・社会の持続的発展と環境保全の両立 (施策番号28) 廃棄物等の3R(発生抑制・再利用・再生利用)と適正処理の推進</p>	<p>事業名「3R推進普及啓発演劇上演事業」 ・学校ではどのような形で実施されているのか。総合学習の一環・学校行事・PTA行事か。小学校であれば何年生が対象なのか。4年の社会や、5、6年の家庭科でゴミについて学ぶと思うが、そこでの連携が図られているか。学校の中での3Rはどうなっているかなどのアンケートをして、効果をチェックすると思う。学校としては費用がかからないので、要望が途切れないと思われるが、以前に比べて、3Rについては、かなりマスメディアでも啓発され、(特に、マータイさんによるMOTTAINAIをきっかけとして)3Rについて話のできる人・NPOも増えているはず。普及啓発については、内容を検討し、次の段階にうつってはどうか。たとえば、3R授業を公募して助成(たとえば10万円の補助×20校または先生)し、その結果を県のホームページで紹介するなど。先生のスキルアップにつながればメリットは大きい。そして、必要な費用以外を他の事業に振り分けてもいい頃かと思う。県としては、市町村がやりにくい、事業者に対する事業をもっと拡充してほしい。</p>